

# 運河の催し 光で明るく

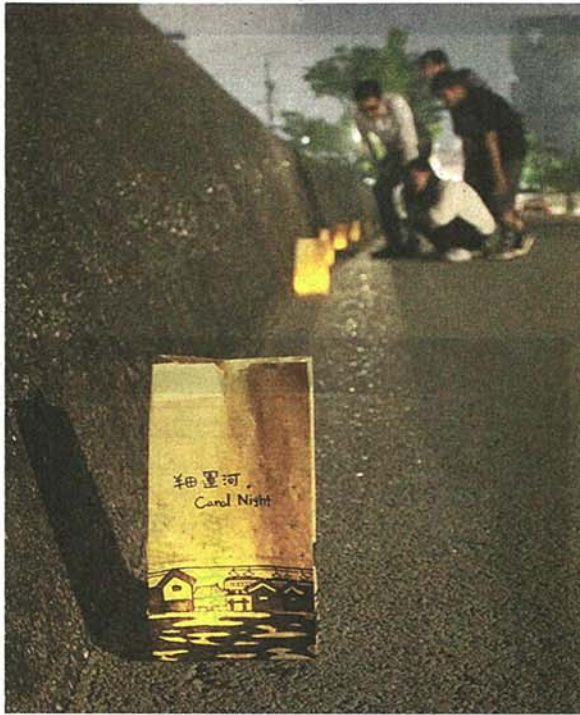
日本福祉大健康科学部(半田市)の学生が、八月十九、二十両日の夜に同市の半田運河一帯で開催されるアートイベント「半田運河Canal Night(キャナル・ナイト)」の準備を進めている。運河沿いの道や水面を発光ダイオード(LED)電球で彩る計画で、学生は「運河の明かりで市民の心も明るくしたい」と意気込んでいる。(大久保謙司)

学生たちは同学部福祉・キャナル・ナイトの運営へ工学科バリアフリーデザの参加もその一環で、催し専修の三年生七人。しの準備を通じて中心市街地の一環として同市中街地へ人を呼び込むため、心市街地の活性化に向けた仕掛けづくりを研究する活動を続けている。キることが狙い。

## 半田 日福大生が来月計画

キャナル・ナイトで行い、光の明るさや水は、JR半田駅から半田運河へ至る歩道と運河沿いの道に、LED電球を入れた紙袋の灯籠六百個を置いて市民らを運河へ導く「ヒカリノミチ」を実施。同時に、運河の水面にLED電球を入れ、球状のカプセル千個を浮かべる「ミズノヒカリ」も行う。

学生は二十七日夜、運河沿いのミツカンミュージアム前で両企画の試験



⑤ 鮮やかに運河沿いの道を照らすLED照明  
⑥ 催し当日、運河の水面に浮かべるLED電球入りのカプセル。いずれも半田市の中村町で